



穂 中 便 り

学校教育目標：知性・健康・品性・協力

令和元年度

第4号

令和2年7月31日

むかわ町立穂別中学校

いよいよ夏休み

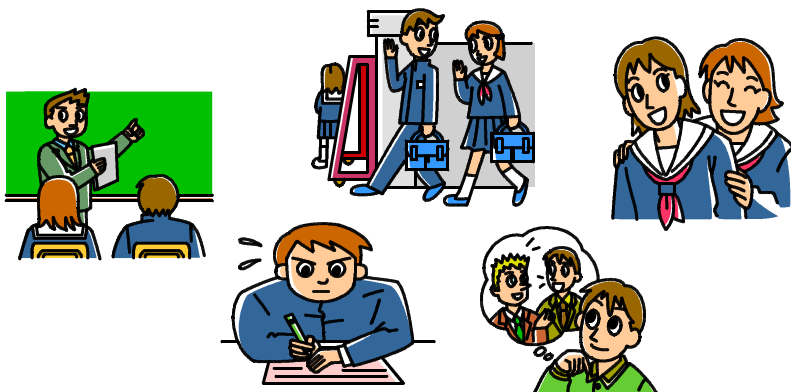
学校長 渡 辺 敬 方

いよいよ明日から夏休みとなります。いつもとは違い、遅く始まります。1学期のはじめはコロナ禍の関係で学校を休業しなければならない事態になり、そのため生徒たちは家庭で過ごすことになりました。その休んでいる間の授業を補うため終業式を遅らせることになりました。例年とは違い、夏休みは少なくなりましたが大いに思い出をつくり楽しい期間にしたいと思います。

さて、これから紹介する「子育て四訓」は、山口県の方が長い教員経験を踏まえてまとめたものです。かつて校内暴力や破壊行為、問題行動などで、教育現場にとって苦難の時代がありました。その中で、さまざまな子どもたちの家庭や親子関係を見ると、その問題行動が人間愛、親子愛の欠落に起因している部分が多いと痛感したそうです。夏休みを前にあらためて親として、学校として、地域社会として親子の関係を見直すことが大切な時間と言えます。

《子育て四訓》

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな



中学校の時期はとりわけ「少年は手を離せ、目を離すな」の時期でしょう。中学生は家族、友人、地域など、他者とのかかわりのなかで社会性が育つ時期です。ここではしっかり手を離して活動範囲を広げてやる必要があります。

一方、この時期は成長とともに子どもが親に反抗するなど心が不安定になりがちな時期です。このことは、親や友人に「こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているのかもしれません。それは成長の過程であり、親としてはしっかりと子どもに向き合い、共に成長することを心がける時期なのかもしれません。

もちろんこの「四訓」の言葉だけで言い尽くされ、うまくいくものではありません。しかし、1学期間の振り返りとこれからのヒントになるものでしょう。

また、保護者の皆さま、地域の皆さまには1学期中は穂別中に対しまして、多大なご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。家庭、地域、学校が互いに連携・協力し、「未来の宝」である子どもたちを共に育てていきたいと思ひます。

- | | | | |
|-----|----------|----------------|-------------|
| ○陸上 | 8月 2日(日) | 中学生通信陸上競技大会 | 苫小牧緑ヶ丘陸上競技場 |
| ○陸上 | 8月22日(土) | 陸上新人戦(3年生の部あり) | 苫小牧緑ヶ丘陸上競技場 |

